



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

才72回 例会 昭和51年12月27日(月) 於海南商工会議所
(海南R.C.と合同例会)

1. 開 会 司 会 谷 井 昭 三
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. 出席率 88.89% 会員総数 27名 出席者数 24名
前回修正出席率 96.30%
4. ビジター 垂井芳太郎様(和歌山R.C.)
5. メイキャップ 吉田君(12/22 海南R.C.) 岸君(12/23 和歌山東R.C.)
6. 会長スピーチ

◎ 昭和51年度最後の例会であるが昨年度に引き続き海南R.C.との合同例会である。正に親と子の両クラブが年一度の対面であるが此の機会に実績の積んだ海南R.C.のメンバーの方々に色々とお聞きいただきたいと思う。会長就任以来約半分を消化した事になるが商用のため再々にわたり副会長、幹事をわずらわし感謝の意を表したい。残された任期については精一杯がんばりたい所存故皆様の一層の御協力をお願いする。

7. 幹事報告

◎ 例会臨時変更通知

- 和歌山西R.C. 1/5(水)～1/8(土) 12:30～三井ビル3F
- 串本R.C. 1/11(火)～同日 18:00～紀州信用金庫串本支店
- 藤井寺R.C. 1/29(土)～同日 12:30～於八尾市農協会館

8. 米元次一郎サンフランシスコ大会実行委員より要請

◎ 国際ロータリー年次大会が1977年6月5日～9日までサンフランシスコにて開催されます。特に1978年度は東京で開催されることになっておりますので、今回は当地区より出来得る限り多数の会員及び家族の参加をお願いする次第です。委員会として大会参加を中心に短期間で費用の余りかからない。推奨プログラムを作成しました。150名以上を目標に募集しておりますので奮ってご参加の程を期待致しております。尚参加者アンケートを実施しております。1月中に各クラブに於て取りまとめの上、ガバナー事務所までご提出下さい。ご参加につきましてのお問い合わせは委員長古市実殿(電話06-452-5123)まで

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

ご連絡下さい。

サンフランシスコ年次大会委員会推奨プログラムはガバナー月信を参考にして下さい。費用は約30万円です。

9. 中村海南 R.C. 会長より閉会ご挨拶をいただく。

10. 会員卓話 岡田雅晶君 (才70回例会より)

◎ 黒江生れの黒江育ちで父が医者、職業上私も同じ職業を選びました。子供を相手に小児科医として20年の経験になりますが今日は若いお母さん方を前にして話す育児教育を皆様方に聞いていただきたい。

文明の発達というものは私達の生活を序々に或いはあわただしく変えて来た。家族構成にしても同様であり昔は大家族主義であり祖母が嫁に育児知識を教えたものであるが現在では核家族化が進み育児には全くの未経験者として立向わねばならなくなっている。とりわけ初めての赤ん坊を育てる若夫婦については自分達の子供を上手に育てられるかどうか非常に心配な点である。

育児教育についてはテレビやラジオ等で情報を流しているし保健所に行けば保健婦から病院に行けば医者からと教え込まれ気真面目な母親ならば何と難かしい事だろうと驚ろくと思う。然し育児の方法は両親が常識で考えれば良く、本能的に赤ん坊にしてやりたいと思う事をするのが一番良いと思う。育児書通りに一生懸命イライラし乍ら育てるよりも多少間違っても親の素直な気持で育てれば良いのだって物事は自然に従うのが良いと思う。

赤ん坊の栄養についても同じ事と思う。特に新生児には母乳が一番良い栄養品である事は勿論で人工栄養では母乳栄養よりも死亡率が4倍も高くなっている。出産の後で出る乳を初乳と云うが昔はあらちちと云って捨てたものである。然しあらちちの中には赤ん坊の体にとって良い I G A と云う免疫体やダクトリンと云った抗生物質に属するものが含まれているので初乳からどンドン飲ましてほしいところが生れてから数日しかたないうちから粉乳を飲まされる新生児には問題が起り易いようだ。

4ヶ月～5ヶ月の赤ん坊では粉乳や牛乳は母乳の代りの役目をするが生れて間もない新生児には安全食品ではないと云う事実を知っていただきたい。

たいていの病気は放置しておけば或経過をへて自然に癒ってしまう肉体の構造になっている。病気になった場合それを癒すのはその人自身であり決して医者では無い。医者はその回復を手助けするに過ぎない。

赤ん坊が病気になった場合一般状態が良ければたいした事はない。

一般状態とは良く笑う、乳も良く飲む等の事であり一般状態が一番良く知っているのが母親であり診察室で医者が診るのは子供の病気の一つの時期に限られている、子供の日常全体や病気を診られるのは母親であり子供にとっても一番良い医者は母親よりないはずである大便や小便の排出の仕方や睡眠状態や食欲の表現等子供1人1人にそれぞれのタイプが有り同一とは云えない。

正常と云っても巾広く子供の年齢に依って標準が決まっていると思うのは間違いである。扱い難い子供には親は子供の体質だと理解を持って寛容でなければいけないし弱虫の子供にはその子供の持味を大切にしたい生活の出来るようにしむけてやってほしい。